

プレス発表資料

平成 29 年 6 月 12 日

国立研究開発法人防災科学技術研究所

～首都圏地震リスクに折れない企業・組織の事業継続の実現～

首都圏レジリエンスプロジェクト

データ利活用協議会発足会ならびに記念シンポジウムのご案内

首都直下地震などの災害にそなえ、国立研究開発法人防災科学技術研究所（理事長：林 春男）が大学等の研究者や賛同する企業・組織と共にオールジャパン体制で推進する、「首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクト」、ならびにプロジェクトの一環として、防災分野における企業・組織の課題解決、事業継続能力の向上に資することを目的とした「データ利活用協議会」が始動することとなり、これに合わせた発足会・記念シンポジウムを開催する運びとなりましたので、ご案内します。

名称：首都圏レジリエンスプロジェクト・データ利活用協議会
発足会・記念シンポジウム

日時：平成 29 年 6 月 23 日（金） 13:30 - 17:15 （開場 13:00）

会場：時事通信ホール（〒104-8178 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル 2 階）

主催：国立研究開発法人 防災科学技術研究所

参加申込み：専用の Web ページよりお申し込みください。

URL: http://eoc.cc.niigata-u.ac.jp/for_r/duc

※詳細は添付資料をご覧ください。

本件配布先：文部科学記者会、科学記者会、経済研究会、筑波研究学園都市記者会
国土交通省建設専門紙記者会、国土交通省交通運輸記者会

本件に関するお問い合わせ

国立研究開発法人 防災科学技術研究所
首都圏レジリエンス研究センター 研究戦略室
阿部浩一、平田容章
電話：029-863-7794 FAX：029-851-1622
E-mail：info_for_r@bosai.go.jp

～首都圏地震リスクに折れない企業・組織の事業継続の実現～

首都圏レジリエンスプロジェクト

データ利活用協議会発足会ならびに記念シンポジウムのご案内

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、6月23日、首都直下地震などの災害に備え、防災科学技術研究所が大学等の研究者や賛同する企業・組織と共にオールジャパン体制で推進する、「首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクト（以下、「首都圏レジリエンス」プロジェクト）」の一環として、防災分野における企業・組織の課題解決、事業継続能力の向上に資することを目的とした「データ利活用協議会」が始動することとなりましたので、ここに発足会・記念シンポジウムのご案内をさせていただきます。

本イベントは、これまでに「首都圏レジリエンス」プロジェクトの目的に関心を持たれた企業・組織や研究者、自治体等の関係者にお集まりいただき、「首都圏レジリエンス」プロジェクトならびに「データ利活用協議会」の内容をご理解・共有いただけるプログラムを予定しております。

2020年のオリンピック・パラリンピックの開催も控え、首都圏の大災害リスクへの関心はますます高まりをみせています。また、全国に頻発する自然災害の影響も看過できません。皆様のご来場及びご取材を心よりお待ちしております。

平成29年6月12日

首都圏レジリエンスプロジェクト総括

(防災科学技術研究所首都圏レジリエンス研究センター長
／東京大学地震研究所教授)

平田 直

< プログラム >

日時：平成29年6月23日(金) 13:30 - 17:15 (開場 13:00)

会場：時事通信ホール

プログラム：

ご挨拶 文部科学省研究開発局長 田中 正朗

首都圏レジリエンスプロジェクトの概要説明

文部科学省研究開発局 地震・防災研究課長 谷 広太

首都圏レジリエンスプロジェクト・データ利活用協議会 発足宣言

首都圏レジリエンスプロジェクト総括 平田 直

首都圏レジリエンスプロジェクト及びデータ利活用協議会の概要説明

～首都圏地震リスクにおけるCSRからCSVの実現へ～

首都圏レジリエンスプロジェクト総括 平田 直

首都圏レジリエンスプロジェクト及びデータ利活用協議会の展開例の説明

1) 研究者より① 「CSVに貢献する情報サービスプラットフォーム」

国立研究開発法人防災科学技術研究所 鈴木 進吾

2) 企業より①

「首都直下地震の人的被災を半数に～感震ブレイカーの果たす役割」

日東工業株式会社

3) 企業より②

「セコムにおける災害への取り組み～セコム災害支援プロジェクトと協議会への期待～」

セコム株式会社

4) 企業より③

「NTT R&Dにおける危機対応への取り組み～セキュリティ技術を活用したデータ共有・利活用について～」

NTT セキュアプラットフォーム研究所

5) 研究者より②

「今後の連携に向けて～気象災害軽減イノベーションハブの活動～」

国立研究開発法人防災科学技術研究所 上石 勲

パネルディスカッション

「首都圏リスクに折れない企業・組織の事業継続の実現

～防災分野におけるデータ利活用協議会への期待～」

おわりに

国立研究開発法人 防災科学技術研究所 理事長 林 春男

※プログラムは事情により、変更になる場合がございます。予めご了承ください。

参加申込み 専用の Web ページよりお申し込みください。

URL: http://eoc.cc.niigata-u.ac.jp/for_r/duc

会場へのアクセス

時事通信ホール

- ・住所：〒104-8178 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル 2 階
- ・TEL：03-3546-6606
- ・公式ウェブサイト：<http://www.jiji.com/hall/access.html>

JR 線

- ・有楽町駅から徒歩 12 分

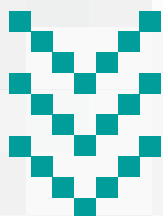
地下鉄

- ・東京メトロ日比谷線・都営浅草線の東銀座駅(6 番出口)から徒歩 1 分
- ・都営大江戸線築地市場駅(A3 出口)から徒歩 4 分
- ・東京メトロ銀座線・丸の内線・日比谷線の銀座駅から徒歩 7 分

企業も強くなる 首都圏も強くなる

首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクト

※レジリエンス(Resilience)とは、外的な衝撃にも、折れることなく「何かあっても立ち直れるしなやかな強さ」のことです。

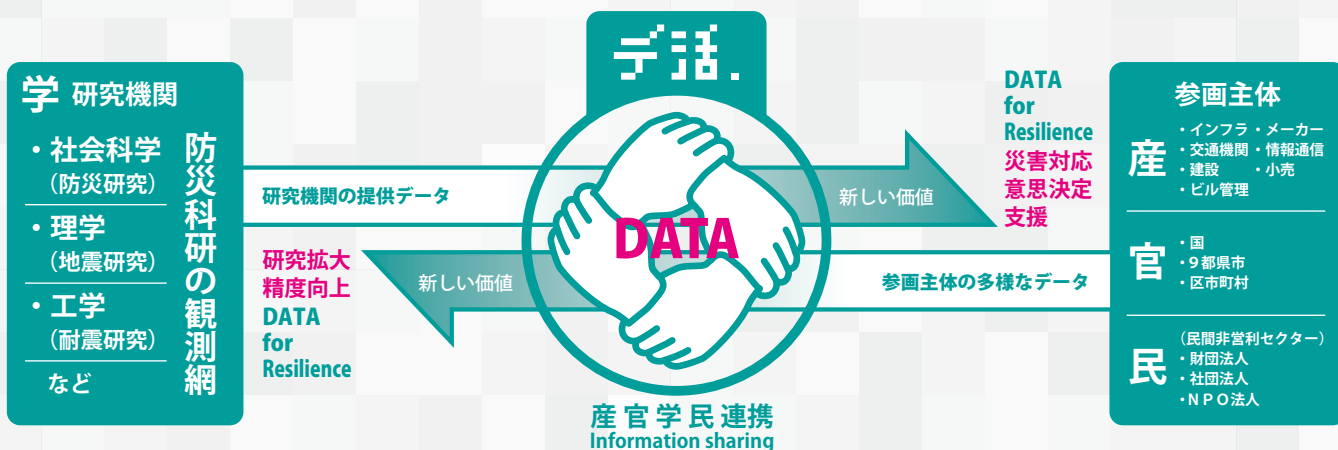


「デ活」

データ活用協議会
Data use and application council for Resilience

「デ活」とは

首都直下地震などの災害に備え、防災科学技術研究所が大学等の研究者や賛同する企業・組織と共にオールジャパン体制で推進する、「首都圏レジリエンスプロジェクト」の一環として、防災分野における企業・組織の課題解決、事業継続能力の向上に資することを目的とした協議会です。





～首都圏地震リスクに折れない企業・組織の事業継続の実現～
首都圏レジリエンスプロジェクト・データ利活用協議会
発足会・記念シンポジウム

2017.6.23 (Fri)

🕒13:30～17:15 (開場13:00)

会 場: 時事通信ホール

参加費: 無料 (事前登録制)

「首都圏レジリエンス」プロジェクトの一環として、防災分野における企業・組織の課題解決、事業継続能力の向上に資することを目的とした「データ利活用協議会」が始動することとなり、これに合わせた発足会・記念シンポジウムを開催する運びとなりました。



首都圏レジリエンス
プロジェクト総括/
東京大学地震研究所教授
平田 直

発足会は、これまでに「首都圏レジリエンス」プロジェクトの目的に関心を持たれた企業・組織や研究者、自治体等の関係者にお集まりいただき、「首都圏レジリエンス」プロジェクトならびに「データ利活用協議会」の内容をご理解・共有いただけるプログラムを予定しております。協議会会員登録ならびに23日の発足会・記念シンポジウムへの参加申込は、下記ページよりご登録ください。

協議会会員登録ならびに
発足会への参加申込ページ

http://eoc.cc.niigata-u.ac.jp/for_r/duc



登録・参加費は
無料です。

プログラム (13:30～17:15)

※プログラムは事情により、変更になる場合がございます。予めご了承願います。

■ 13:00 開場

■ 13:30 ご挨拶 田中 正朗 (文部科学省研究開発局長)

■ 13:35 首都圏レジリエンスプロジェクトの概要説明 谷 広太 (文部科学省研究開発局 地震・防災研究課長)

■ 13:50 「首都圏レジリエンス」プロジェクト・データ利活用協議会 発足宣言 平田 直 (首都圏レジリエンスプロジェクト総括)

■ 14:00 首都圏レジリエンスプロジェクト及びデータ利活用協議会の概要説明
 ～首都圏地震リスクにおけるCSRからCSVの実現へ～ 平田 直 (首都圏レジリエンスプロジェクト総括)

■ 14:35 首都圏レジリエンスプロジェクト及びデータ利活用協議会の展開例の説明

- 1) 研究者より① 「CSVに貢献する情報サービスプラットフォーム」 鈴木 進吾 (国立研究開発法人防災科学技術研究所)
- 2) 企業より① 「首都直下地震の人的被災を半数に～感震ブレーカーの果たす役割」 鈴木 宏 (日東工業株式会社)
- 3) 企業より② 「セコムにおける災害への取り組み～セコム災害支援プロジェクトと協議会への期待～」
 目崎 祐史 (IS研究所・セコム株式会社)、小松原 康弘 (災害支援プロジェクト・セコム株式会社)
- 4) 企業より③ 「NTT R&Dにおける危機対応への取り組み～セキュリティ技術を活用したデータ共有・利活用について～」
 前田 裕二 (NTTセキュアプラットフォーム研究所)
- 5) 研究者より② 「今後の連携に向けて～気象災害軽減イノベーションハブの活動～」 上石 勲 (国立研究開発法人防災科学技術研究所)

■ 15:55 休憩 (15分)

■ 16:10 パネルディスカッション

「首都圏リスクに折れない企業・組織の事業継続の実現 ～防災分野におけるデータ利活用協議会への期待～」

■ 17:05 おわりに 林 春男 (国立研究開発法人防災科学技術研究所 理事長)

会場へのアクセス

時事通信ホール

住所: 〒104-8178 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル 2階

TEL: 03-3546-6606

公式HP: <http://www.jiji.com/hall/access.html>

google map



JR線 「有楽町」駅から徒歩12分

地下鉄 東京メトロ日比谷線・都営浅草線の「東銀座」駅(6番出口)から徒歩1分

都営大江戸線「業地市場」駅(A3出口)から徒歩4分

東京メトロ銀座線・丸の内線・日比谷線の「銀座」駅から徒歩7分



お問い合わせ



国立研究開発法人
防災科学技術研究所

首都圏レジリエンス研究センター
研究戦略室 (平田 容章、阿部 浩一)

電話: 029-863-7794

FAX: 029-851-1622

E-mail: info_for_r@bosai.go.jp